

2020年6月

## 第21回新潟水俣環境賞作文コンクール受賞作品のお知らせ

連絡先：新潟水俣病被害者の会  
〒950-0965 新潟市中央区新光町6-2 勤労福祉会館3階  
TEL 025-281-2466 FAX 025-281-8101

### 新潟水俣環境賞作文コンクール設立の趣旨

新潟水俣病被害者の会と同阿賀野患者会は、「こんな苦しみは自分たちだけでたくさんだ。子や孫に同じ苦しみを味わせてはならない」という思いから、公害の根絶や環境と人間を大切にする社会をつくる活動を展開しています。しかし、そうした思いとは逆に、環境汚染による人体被害は深刻化しており、私たちは、子どものときから環境問題に関心を持ち、理解し、行動することがたいへん大切であると感じています。

新潟水俣環境賞作文コンクールは、そうした観点から、子どもたちより『身の回りの環境や新潟水俣病』を題材に広く募るものです。

### 第21回新潟水俣環境賞 作文コンクール受賞者

第21回新潟水俣環境賞作文コンクールは、新型コロナウイルス感染禍のもと行われました。県内の小中学校も3月初めから休校に入り、その影響もあって今回の応募数は例年より少なく、小中学生あわせて122点でした。

また、作文の選考方法も、新型コロナウイルスの影響を避けて、いつもの全選考委員が一堂に会する会議スタイルでなく、今回は「書面審査」様式で行いました。結果、第21回新潟水俣環境賞は、次の4名の方が受賞することになりました。心よりお祝い申し上げます。

#### 〈優秀賞〉

◇小学校5・6年生の部

「私達の未来は」

はせがわ み なみ  
長谷川 美 波 さん （新発田市立外ヶ輪小学校5年）

## 〈佳 作〉

### ◇小学校の部

山崎さんとの約束

の<sup>の</sup>野<sup>くち</sup>口<sup>あい</sup>心<sup>と</sup>翔<sup>と</sup>さん（妙高市立新井中央小学校5年）

人も魚も安心して過ごせる川に

たか<sup>たか</sup>高<sup>はし</sup>橋<sup>はし</sup>ゆ<sup>り</sup>り<sup>さん</sup>さん（新発田市立住吉小学校5年）

### ◇中学校の部

差別や偏見のない社会をつくるために

さか<sup>さか</sup>坂<sup>がみ</sup>上<sup>まな</sup>愛<sup>み</sup>美<sup>み</sup>さん（新潟市立新潟柳都中学校2年）

## ◇小学校五・六年生の部

### 「私達の未来は」

新発田市立外ヶ輪小学校五年 長谷川 美波

私は「環境と人間のふれあい館」へ行くまでは、新潟水俣病に対して全く無知だった。語り部の立川小三郎さんの話を聞いてとてもショックを受けた。なぜかと言うと、遠い世界で起きた怖い事ではなく私の住んでいる新発田市からさほど遠くない所で起きた事実だと言う事だからだ。

工場排水に含まれていた有機水銀が阿賀野川に流出し、そこに生息していた魚を大量に食した人達が発病したのだ。症状は、視野が狭くなる、手足の感覚が鈍くなる、歩行が上手く行かず生活に支障をきたす。もっと重い場合は死に至る恐ろしい病気だ。普通の人

達が普通のごく当たり前の生活を奪われてしまったのだ。川へ決して流してはならない有機水銀をなぜ流してしまったのか。工場の身勝手な判断と行いに私は酷く腹がたち許せないと思った。こんなにも重い病気を患った上に家族の方々までもが酷い差別を受け続け、今でも苦しんでいる。私は、病気との闘いだけではなく「差別」と言う人間が起こす「負の感情」とも闘っているのだと思った。しかし、差別は私達一人一人の考え方、伝え方で排除できるのではないだろうか。人事ではなく、自分に起きている事として考えるべきなのだ。

以前、先生から日本は戦後の高度経済成長とともに生活水準が上がったと教わった。家電、水道、ガス、電気。その他にも生活をする上でスイッチ一つで何でもできるという事だ。そんな便利で豊かな暮らしとは裏腹に、とても深刻な環境問題がたくさんある事を決

して忘れず、解決していかななくてはならないと感じている。新潟水俣病が起きた水の問題は海に囲まれ、川がある新潟県にとっては大きな問題だ。特に農業、水産業が盛んで海からは、季節ごとにおいしい魚貝類が豊富にとれる。そして秋になるとお米の収穫が始まる。私は、この新潟でとれた魚やお米や野菜や果物が本当に大好きだ。もし万が一、川や海に有害物質の含まれた汚水が流れこみ、魚や農作物が食べられなくなってしまうたら……。だからこそ過去の過ちは絶対に二度とくり返してはならない。

私はこの恵まれた環境の地、新発田市で生活をする事ができて心から感謝をしている。安心して暮らす事、食する事ができるありがたさを忘れてはならないと思っている。

「安心して暮らせる生活」 Ⅱ 「私達の未来」 は自らが作り一人一人の努力の上で成り立っていると私は信

じている。そして明日から私達ができる事はなにか。私はいつも自問自答して生きてゆこうと心に固く誓った。

## □第1回新潟水俣環境賞 作文コンクール優秀賞受賞者

- ◇小学校1・2年生の部 小出 有紗 さん ( 吉田町立 吉田小学校2年 ) 「ほたるさがしをやってみて」
- ◇小学校3・4年生の部 佐藤 航 君 ( 上越市立 上雲寺小学校3年 ) 「川をままろう」
- ◇小学校5・6年生の部 宮川 雄太郎 君 ( 柿崎町立 柿崎小学校5年 ) 「新潟水俣病の勉強をして考えたこと」
- ” 小野 恵美 さん ( 新潟市立 大淵小学校6年 ) 「自然について そして私たちにできる事」
- ◇中学校の部 本間 洋州 君 ( 新潟大学教育人間科学部 附属新潟中学校3年 ) 「新潟水俣病を語り継ぐ」

## □第2回新潟水俣環境賞 作文コンクール優秀賞受賞者

- ◇小学校1・2年生の部 石塚 雄基 君 ( 柏崎市立 南鯖石小学校2年 ) 「ぼくのスイカ」
- ◇小学校5・6年生の部 西 方 あすか さん ( 田上町立 田上小学校6年 ) 「ゴミの少ない世界に向けて」
- ” 泉 田 頌彦 君 ( 田上町立 田上小学校6年 ) 「新潟水俣病で苦しんだ人たち」

## □第3回新潟水俣環境賞 作文コンクール優秀賞受賞者

- ◇小学校1・2年生の部 やざわ たかゆき 君 ( 新潟市立 鳥屋野小学校1年 ) 「ぼくのうちのクリーンさくせん」
- ◇中学校の部 石井 美野李 さん ( 豊栄市立 光晴中学校1年 ) 「蛍の飛び交う住みよい町を」
- ” 高 橋 夏希 さん ( 豊栄市立 光晴中学校1年 ) 「自分自身に勝てますか」

## □第4回新潟水俣環境賞 作文コンクール優秀賞受賞者

- ◇小学校1・2年生の部 さとう なつき さん ( 十日町市立 中条小学校1年 ) 「ほたるのいないなつ」
- ◇小学校5・6年生の部 佐藤 愛理 さん ( 新潟市立 真砂小学校6年 ) 「野鳥の森を壊さないで！」
- ◇中学校の部 濁川 暁 さん ( 新井市立 新井中学校1年 ) 「水と緑の新潟をいつまでも」
- ” 牧 口 菜奈子 さん ( 柏崎市立 鏡が沖中学校3年 ) 「環境問題との距離」

## □第5回新潟水俣環境賞 作文コンクール優秀賞受賞者

- ◇小学校3・4年生の部 河合 寿也 君 ( 吉田町立 粟生津小学校3年 ) 「平和な社会のために」
- ◇中学校の部 佐藤 愛理 さん ( 新潟市立 五十嵐中学校1年 ) 「動植物たちの警告」
- ” 石井 愛理 さん ( 豊栄市立 光晴中学校1年 ) 「水俣病から学んだこと」

## □第6回新潟水俣環境賞 作文コンクール優秀賞受賞者

- ◇小学校5・6年生の部 丸山 千夏子 さん ( 新発田市立 外ヶ輪小学校6年 ) 「水俣病を学習して」
- ◇中学校の部 佐藤 大介 君 ( 新発田市立 豊浦中学校1年 ) 「福島潟の環境について」

## □第7回新潟水俣環境賞 作文コンクール優秀賞受賞者

- ◇小学校1・2年生の部 ほし みやこ さん ( 上越市立 中郷小学校1年 ) 「にいがたのしぜん」
- ◇小学校3・4年生の部 小野島 一美 さん ( 柏崎市立 門出小学校4年 ) 「自然がふえるたび、楽しさは広がる」
- ◇小学校5・6年生の部 齋藤 眞生 さん ( 新発田市立 猿橋小学校5年 ) 「新潟水俣病被害者の心」
- ” 齋藤 怜奈 さん ( 新発田市立 天王小学校6年 ) 「水俣病と阿賀のお地藏さんの学習をして」

## □第8回新潟水俣環境賞 作文コンクール優秀賞受賞者

- ◇小学校1・2年生の部 　いとう　　そうた　　君（阿賀野市立京ヶ瀬小学校2年）「美しい里山をいつまでも」  
◇小学校5・6年生の部 　小野沢　おのざわ　元　　貴　　君（新潟市立天王小学校5年）「水俣病から学んだこと」  
　　　　　　　　　　　　　〃　　　　　ひろ　　た　　陽　　か　　さん（阿賀野市立大和小学校6年）「私たちの阿賀野川」

## □第9回新潟水俣環境賞 作文コンクール優秀賞受賞者

- ◇小学校3・4年生の部 　い　　とう　　そう　　た　　君（阿賀野市立京ヶ瀬小学校3年）「水俣病を知ることの大切さ」  
◇小学校5・6年生の部 　い　　あか　　あ　　り　　さん（新潟市立葛塚東小学校6年）「本当のこと」  
◇中学校の部 　なか　　がわ　　か　　きょう　　さん（佐渡市立小本中学校2年）「朱鷺の住む島をいつまでも」  
　　　　　　　　　　　〃　　　　　すが　　　優　　　希　　さん（新潟市立東中学校2年）「自然環境を守るために」

## □第10回新潟水俣環境賞 作文コンクール優秀賞受賞者

- ◇小学校1・2年生の部 　や　　べ　　けい　　た　　君（出雲崎町立出雲崎小学校1年）「あんぜんでおいしい、ちさんちしょう」  
◇小学校5・6年生の部 　さ　　く　　ま　　みず　　瑞　　季　　さん（新潟市立外ヶ輪小学校5年）「水俣病から学んだこと」  
　　　　　　　　　　　〃　　　　　えい　　島　　理　　穂　　さん（上越市立東本町小学校5年）「絶対にゆるさない」  
◇中学校の部 　にし　　だ　　たく　　や　　君（新潟市立新津第五中学校1年）「水俣市視察研修に参加して」

## □第11回新潟水俣環境賞 作文コンクール優秀賞受賞者

- ◇小学校3・4年生の部 　たか　　さわ　　ゆう　　い　　さん（上越市立里公小学校1年）「差別を考え、差別のげきでえんじて」  
◇小学校5・6年生の部 　かわ　　うち　　あ　　り　　さん（新潟市立胎内小学校5年）「新潟水俣病を学習して」  
　　　　　　　　　　　〃　　　　　にし　　も　　え　　か　　さん（新潟市立外ヶ輪小学校5年）「今、私たちにできること」

## □第12回新潟水俣環境賞 作文コンクール優秀賞受賞者

- ◇小学校3・4年生の部 　みや　　ざき　　たか　　ひろ　　君（上越市立里公小学校4年）「三和の自然～オニバス～」  
◇小学校5・6年生の部 　やま　　や　　谷　　瀬　　奈　　さん（三条市立栄中央小学校5年）「新潟水俣病について分かった事」

## □第13回新潟水俣環境賞 作文コンクール優秀賞受賞者

- ◇小学校3・4年生の部 　たか　　はし　　み　　づき　　さん（新潟市立新潟小学校4年）「新潟水俣病を初めて知って」  
◇小学校5・6年生の部 　小　　ぼ　　やし　　ち　　さと　　さん（上越市立針小学校5年）「私たちのくらしと公害」  
　　　　　　　　　　　〃　　　　　かた　　ま　　ま　　き　　さん（新潟市立外ヶ輪小学校5年）「水俣病から学んだ大切な事」  
◇中学校の部 　にし　　むら　　か　　な　　こ　　さん（相崎市立第一中学校1年）「水俣病をくり返さないために」  
　　　　　　　　　　　〃　　　　　にし　　だ　　ま　　り　　さん（新潟市立新津第五中学校1年）「新潟水俣病の完全救済を願って」

## □第14回新潟水俣環境賞 作文コンクール優秀賞受賞者

- ◇小学校5・6年生の部 　すず　　き　　よし　　き　　さん（五泉市立五泉南小学校5年）「みんなで仲良く」  
　　　　　　　　　　　〃　　　　　やま　　り　　お　　か　　さん（五泉市立五泉南小学校5年）「新潟水俣病のかん者の苦しみ」  
◇中学校の部 　たけ　　うち　　けん　　と　　さん（上越市立潮陵中学校1年）「僕の宝物～地域を大切に思う心～」

## □第15回新潟水俣環境賞 作文コンクール優秀賞受賞者

- ◇小学校1・2年生の部 さか がみ まな み さん (新潟市立 入舟小学校2年) 「水や食の安全」  
坂 上 愛 美 さん (新潟市立 濁川小学校5年) 「絶対にわすれてはならない新潟水俣病」  
◇小学校5・6年生の部 おお はし ま まい さん (新潟市立 濁川小学校5年) 「この一年間環境について考えたこと」  
大 橋 麻 衣 さん (新潟市立 岩室小学校5年) 「この一年間環境について考えたこと」  
〃 えい もと しゅう 人 さん (新潟市立 岩室小学校5年) 「この一年間環境について考えたこと」  
〃 のの もと しゅう 人 さん (新潟市立 岩室小学校5年) 「この一年間環境について考えたこと」  
◇中学校の部 わせだ まま い さん (上越市立 潮陵中学校1年) 「地域のよさを残していくために」  
和瀬田 真 衣 さん (上越市立 潮陵中学校1年) 「地域のよさを残していくために」

## □第16回新潟水俣環境賞 作文コンクール優秀賞受賞者

- ◇小学校3・4年生の部 さか がみ まな み さん (新潟市立 入舟小学校3年) 「新がた水俣病について思う事」  
坂 上 愛 美 さん (新潟市立 入舟小学校3年) 「新がた水俣病について思う事」  
◇小学校5・6年生の部 いちか し たく み さん (上越市立 東本町小学校5年) 「ぼくの住んでいる地域」  
五十嵐 拓 海 さん (上越市立 東本町小学校5年) 「ぼくの住んでいる地域」  
〃 にい の れい な さん (五泉市立 五泉南小学校5年) 「苦しんでいる水俣病患者さん」  
新野 鈴 奈 さん (五泉市立 五泉南小学校5年) 「苦しんでいる水俣病患者さん」  
〃 おお はし ま まい さん (新潟市立 濁川小学校6年) 「ホタルの住むふるさとに」  
大 橋 麻 衣 さん (新潟市立 濁川小学校6年) 「ホタルの住むふるさとに」

## □第17回新潟水俣環境賞 作文コンクール優秀賞受賞者

- ◇小学校5・6年生の部 ひ ぐち ひなた さん (上越市立 東本町小学校5年) 「動植物の声に耳をかたむけて」  
樋 口 ひなた さん (上越市立 東本町小学校5年) 「動植物の声に耳をかたむけて」  
〃 きし だ あ 彩 希 さん (妙高市立 新井中央小学校5年) 「新潟の自然のすばらしさ」  
岸 田 彩 希 さん (妙高市立 新井中央小学校5年) 「新潟の自然のすばらしさ」  
〃 なか の さ 紗 や 椰 さん (妙高市立 新井中央小学校5年) 「犠牲になる人をつくらないで」  
中 田 の 紗 や 椰 さん (妙高市立 新井中央小学校5年) 「犠牲になる人をつくらないで」  
◇中学校の部 はし の ほし 智 哉 さん (新潟市立 南浜中学校1年) 「水俣病を学習して」  
星 野 ほし 智 哉 さん (新潟市立 南浜中学校1年) 「水俣病を学習して」

## □第18回新潟水俣環境賞 作文コンクール優秀賞受賞者

- ◇小学校5・6年生の部 ほん ま ゆめ な さん (新潟市立 横越小学校5年) 「心に響いた言葉「心も体も痛い」」  
本 間 夢 菜 さん (新潟市立 横越小学校5年) 「心に響いた言葉「心も体も痛い」」  
〃 さき はるな さん (新発田市立 外ヶ輪小学校5年) 「同じ事をくり返さないで」  
佐々木 はるな さん (新発田市立 外ヶ輪小学校5年) 「同じ事をくり返さないで」  
◇中学校の部 たか はし み あづ美 さん (新潟明訓中学校2年) 「今の私たちにできること」  
高 橋 あづ美 さん (新潟明訓中学校2年) 「今の私たちにできること」

## □第19回新潟水俣環境賞 作文コンクール優秀賞受賞者

- ◇小学校5・6年生の部 ご とう なお こ さん (新潟市立 亀田東小学校5年) 「新潟水俣病の人々の事実」  
後 藤 尚 子 さん (新潟市立 亀田東小学校5年) 「新潟水俣病の人々の事実」  
◇中学校の部 よし だ とも か 花 さん (新潟明訓中学校2年) 「私達の義務」  
吉 田 知 花 さん (新潟明訓中学校2年) 「私達の義務」  
〃 さき とう さくら さん (新潟明訓中学校2年) 「未来につなげていくために」  
佐 藤 さくら さん (新潟明訓中学校2年) 「未来につなげていくために」

## □第20回新潟水俣環境賞 作文コンクール優秀賞受賞者

- ◇小学校5・6年生の部 ひら やま あまね さん (上越市立 東本町小学校5年) 「「光」と「かげ」」  
平 山 あまね さん (上越市立 東本町小学校5年) 「「光」と「かげ」」  
〃 かい ぬま ゆう な さん (上越市立 東本町小学校5年) 「水俣病について学んで」  
貝 沼 祐 奈 さん (上越市立 東本町小学校5年) 「水俣病について学んで」  
◇中学校の部 さき とう か 華 さん (新潟明訓中学校2年) 「繰り返さぬために」  
佐 藤 百 華 さん (新潟明訓中学校2年) 「繰り返さぬために」  
〃 ひら おか ち 鶴 さん (新潟明訓中学校2年) 「今、私たちにできること」  
平 岡 千 鶴 さん (新潟明訓中学校2年) 「今、私たちにできること」

## □新潟水俣環境賞作文コンクール選考委員

板垣剛（新潟水俣病弁護団）、小武節子（新潟水俣病被害者の会）、小林礼子（新潟県教職員組合）、昆義雄（新潟水俣病阿賀野患者会）、斎藤恒（木戸病院医師・水俣病）、島田克（新潟県教職員組合）、高野秀男（新潟水俣病被害者の会事務局）、中澤篤夫（県立環境と人間のふれあい館）、中村周而（新潟水俣病共闘会議）、山田孝夫（新潟日報社）、○渡邊登（新潟大学）

〔五十音順、敬称略、○は選考委員長〕

## □主 催

新潟水俣病被害者の会、新潟水俣病阿賀野患者会

## □後 援

新潟県・県教育委員会、新潟市・新潟市教育委員会、阿賀野市・阿賀野市教育委員会、五泉市・五泉市教育委員会、阿賀町・阿賀町教育委員会、長岡市・長岡市教育委員会、上越市・上越市教育委員会、三条市・三条市教育委員会、柏崎市・柏崎市教育委員会、新発田市・新発田市教育委員会、小千谷市・小千谷市教育委員会、加茂市・加茂市教育委員会、十日町市・十日町市教育委員会、見附市・見附市教育委員会、村上市・村上市教育委員会、燕市・燕市教育委員会、糸魚川市・糸魚川市教育委員会、妙高市・妙高市教育委員会、佐渡市・佐渡市教育委員会、魚沼市・魚沼市教育委員会、南魚沼市・南魚沼市教育委員会、胎内市・胎内市教育委員会、聖籠町・聖籠町教育委員会、弥彦村・弥彦村教育委員会、田上町・田上町教育委員会、出雲崎町・出雲崎町教育委員会、湯沢町・湯沢町教育委員会、津南町・津南町教育委員会、刈羽村・刈羽村教育委員会、関川村・関川村教育委員会、粟島浦村・粟島浦村教育委員会、新潟日報社、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞社新潟支局、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、N S T、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新津、柏崎コミュニティ放送、エフエムしばた、FMゆきぐに76.2、燕三条エフエム放送、FM-J エフエム上越、エフエム角田山ぽかぽかラジオ、エフエムとおかまち

## 募 金 の お 願 い

新潟水俣環境賞は、被害者の会が1996年の和解時に支払われた「解決金」の一部を拠出して設け、最近は関係者や篤志家からのカンパでまかっています。被害者の会と阿賀野患者会は、本賞が子どもたちの関心と呼びかけとなり、かつ、健やかに育ってくれることを願い、できるだけ長く続けたいと思っています。また、2015年の新潟水俣病公表50年を機に、第1回～16回の優秀賞をまとめた「作文集」を県内の小・中学校全校と公立図書館に配布しました。長く続けられるようご協力をお願いします。

### 〔募金送金先〕

○郵便振替口座 00500-0-8369 新潟水俣病被害者の会

○新潟県労働金庫 新潟南支店（普）4167069 新潟水俣病被害者の会